

議会だより

新年のごあいさつ



副議長
村上 順一



議長
北川 光昭

あけましておめでとうございます。年頭に当たり、謹んで御挨拶を申し上げます。旧年中は、市議会の活動に温かい御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、皇位の継承に伴い、5月に元号が「平成」から「令和」に改元された節目の年でありました。

また、吉野彰さんのノーベル化学賞受賞、スポーツでは、渋野日向子選手のゴルフメジャー初優勝、日本で開催されたラグビーワールドカップでの日本代表の活躍など、明るい話題の多い年でした。

一方では、相次ぐ台風により、各地が甚大な被害に見舞われ、自然災害の脅威を改めて実感させられた年でもありました。

さて、時代の変化とともに、地方自治体の抱える課題は、年々複雑・多様化しており、住民にとつて最も身近な自治体として、市の果たすべき役割と責任はますます大き

なものとなつてきております。このような中、市議会では、総合センターの今後の在り方や公共施設全体の在り方について検討するため、昨年6月に、前期に引き続き、「公共施設の在り方調査特別委員会」を設置いたしました。

また、昨年1月から議員報酬を減額するとともに、5月から議員定数を削減いたしました。さらに、今期から新たに予算決算常任委員会を設置し、常任委員会の体制及び運営の見直しを行う等、議会改革に努めている次第でございます。

今後とも、皆様の負託に応えるべく、市政の様々な課題に対し、行政と共に真摯に取り組む所存でございますので、一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、皆様にとりまして、幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。

また、昨年1月から議員報酬を減額するとともに、5月から議員定数を削減いたしました。さらに、今期から新たに予算決算常任委員会を設置し、常任委員会の体制及び運営の見直しを行う等、議会改革に努めている次第でございます。

誌面のご案内

新年の抱負	1～4
決算審査のあらまし	5・6
委員会視察の報告	7

謹賀新年

市議会議員は、公職選挙法で市内での年賀状や挨拶状などを出すことが禁止されているため、本誌面をもって、新年の挨拶にかえさせていただきます。

市民の皆様の御理解をお願い申し上げます。

新年の抱負



ねやがわ未来議員団

未来に向かって誰もが
生き生きと暮らせる

魅力あるまちづくりを進めます

新年あけましておめでとうござい
ます。昨年は、4月に「中核市」となり、
5月には元号が「令和」に改まりました。
同時に我が会派は新たにねやがわ
未来議員団として新会派を発足させ、
その責務を果たすべく、市政に対し一
丸となる決意を固めました。より高度
な市政運営が求められる昨今の状況
に、様々な立場・角度から政策提言・予
算要望を行います。財政のバランスを
鑑み、将来を見据えた魅力あるまちづ
くりを進めるために、計画的に、そし
て常に優先すべきは何かを考え、着実
に取り組んでまいります。

災害対策と治水対策の推進を含む
危機管理体制を充実

南海トラフなどの地震への備えと
して、本市の住宅耐震化率を加速さ
せるための現実的かつ具体的なロー

ドマップを描くことを求めます。また、
昨年東日本で起こった大型の台風によ
る甚大な被害を教訓に、淀川堤防決
壊を前提とした垂直避難場所の確保
など浸水対策を含めた治水対策を求
めます。加えて、災害発生時に福祉・
医療面（透析患者・在宅患者等）など
様々な状況を想定した避難環境の想
定や避難訓練を行うことを求めます。

魅力あるまちづくりに向け、主要
道路や住環境などの整備を推進

まちづくりの二軸化構想について、
寝屋川公園駅周辺の具体的プランと
タイムスケジュールを求めます。また対
馬江大和線の計画とおりの供用開始
へ取組の加速を求めます。加えて、都
市計画道路千里寝屋川線・萱島讃良
線の早期整備に向けての府への働き掛
けを求めます。また更なる緑化推進を
含めたこれからのまちづくりをイメー
ジする市内街路樹の整備を求めます。

子どもの学び力を育成するととも
に教育環境の整備・充実を図る

令和4年度の全庁的な小中一貫校の
移行に向けた取組の推進及び第四中

農業振興においては菜園ニーズに対す
る農地貸農園化の促進や住宅空き地
の菜園化などの検討を求めます。

市民が主役のまちづくり

子育てしやすい環境の整備

保育園の一時預かりへの「もっとと
寝屋川」アプリの活用による予約の
一元化や情報共有化を図るよう求め
ます。また保育士の業務負担軽減や
保育士確保への働き掛けを求めます。

障害がある人の自立環境整備

放課後デイサービスの質的向上を
求めます。またあかつき園・ひばり
園療育水準維持・充実を図ること及
び専門職員の配置等の更なる充実を
図ることを求めます。

高齢者の社会参加と自立支援

高齢者の介護予防・介護重度化予
防を図るため医療の計画推進との体
化、相乗効果の創出を求めます。また
今後、後期高齢世代人口が増える
と予想される中、介護事業において合
理的な規制緩和の検討を求めます。
以上、令和2年度予算に係る政策提
言の要旨（一部）を記載いたしました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



森本 雄一郎
清水町 32 番 18 - 204 号
☎ 888-3085
S48.11.3 生、自由民主党



北川 光昭
対馬江東町 6 番 1 号
☎ 838-5811
S31.12.15 生、自由民主党



北川 健治
仁和寺本町二丁目 4 番 8 号
☎ 827-6820
S23.9.26 生、自由民主党



金子 英生
太秦桜が丘 1 番 18 号
☎ 821-5774
S46.1.22 生、自由民主党



井川 晃一
成田東町 6 番 7 号
☎ 842-3500
S57.8.30 生、自由民主党



吉羽 美華
香里南之町 28 番 6 号
☎ 834-0917
S55.7.26 生、無所属



山崎 菊雄
若葉町 34 番 10 号
☎ 829-1900
S24.5.12 生、無所属



久野 須賀子
御幸西町 25 番 14 号 (301 号)
☎ 090-2554-3185
S40.9.8 生、無所属



板東 敬治
大元町 16 番 7 号
☎ 826-6822
S40.10.22 生、無所属



馬場 才
美井元町 15 番 11 号
☎ 837-7222
S46.1.18 生、無所属



西尾 勝成
三井南町 1 番 1 号 (101 号)
☎ 080-4244-7728
S52.11.20 生、立憲民主党

大阪府市議会議員研修会

大阪府市議会議員研修会が、令和元年 11 月
19 日に大阪府吹田市のホテルで開催され、本
市議会議員が参加しました。

研修会では、講師に新潟産業大学准教授の蓮
池 薫氏を招き「夢と絆」と題して講演会があ
りました。



全員協議会

全員協議会は、市政に関する重要事項等につ
いて検討するため議員全員が集まって開かれる
会議です。

令和元年 11 月 22 日に全員協議会を開催し、
子どもの健やかな成長のための受動喫煙防止条
例（素案）、上下水道事業経営戦略（素案）及
び教育大綱（素案）について説明を受けました。



公明党市会議員団

**持続可能な発展都市
ねやがわのまちづくりへ**

明けましておめでとうございます。
一人に寄り添う政治を貫き、誰もが活躍できる社会の実現へ全力で取り組んで参ります(予算要望から抜粋)。

子どもの健全育成

- いじめ防止条例の制定
- 小・中学校体育館のエアコン設置
- 留守家庭児童会の日曜開所と職員の処遇改善
- 就学前児童の給食費無償化と完全給食実施
- 子どもの健全育成に関わる有効な施策の総動員を図ること

市民福祉の向上

- 介護サービス未利用者への保険料負担軽減策の実施
- 窓口業務の改善・改革
- 駅前図書館の整備拡充
- 手話通訳者の増員(本庁配置)と手話の普及
- 食品ロス削減に向けた取組強化
- 介護予防・健康寿命施策の推進
- 環境問題への取組強化(レジ袋・犬猫の糞害等)
- がん検診及び各種検診事業の受診率向上施策の推進

○発信力強化(字幕の積極的な活用)
将来へのまちづくり

- 総合センターの在り方を早急に検討(代替機能を駅前に移転)
- 乗合いワゴンの事業効果を高める取組の実施
- 鉄道沿線の活力あるまちづくり
- (仮称)ねやがわポイント(ねやポ)事業の導入
- 動物愛護の取組促進(譲渡会の充実)
- 命を守る防犯対策の取組強化
- あらゆる災害等を想定した地域防災力向上の取組を図る

行財政運営

- クラウドファンディング・SIBの導入検討



池添 義春

高柳五丁目3番1号
☎ 839-4171
S33.7.11 生、公明党



野々下 重夫

豊野町15番33号
☎ 823-5988
S28.12.9 生、公明党



村上 順一

南水苑町5番12号
☎ 811-0205
S42.2.2 生、公明党



辻谷 恵一

寿町45番20号
☎ 090-1482-3053
S47.5.23 生、公明党



高見 雄介

上神田一丁目44番27号
☎ 828-0814
S46.10.3 生、公明党



岡 由美

田井町33番33号
☎ 831-8700
S42.5.5 生、公明党

大阪維新の会議員団

**謹んで新年の
お祝いを申し上げます**

旧年中は私共の会派活動に格別の御理解と御協力を賜り心から御礼を申し上げます。中核市へと移行し様々な取組が実行されようとしています。また目まぐるしく時代が移り変わる今日、現実を見つめ未来を見据えた確実な政策提言を行い、市民の声を市政へと反映すべく実のある議論を行い、愚直に議員の職務を全うしてまいります。

行財政運営について

- 公共施設の今後の在り方について、早期に個別計画を策定し速やかに最適化を図ること。またその際には将来の市民サービスの提供方法などを想定し行うことを要望します。
- 庁内会議でのICT機器の活用促進やペーパーレス化を行い、更なる業務の効率化を推進するとともに、総人件費の抑制を図り仕事量の削減に取り組むことを要望します。

子育て教育について

- 小中一貫教育を基に児童の更なる学力向上を図るために、本市独自の幼児教育プログラムの導入及び積極的な幼小連携教育の推進を要望します。



福田 篤志

香里北之町7番13号
☎ 080-2532-4113
S59.1.18 生、大阪維新の会



中谷 剣将

香里新町24番4-103号
☎ 070-3865-6411
H3.10.10 生、大阪維新の会



奥 大輔

池田新町3番11-102号
☎ 827-6996
S50.9.10 生、大阪維新の会



中川 健

三井が丘一丁目4番8-206号
☎ 080-5305-3479
S63.6.15 生、大阪維新の会

日本共産党市会議員団

市民が安心して暮らせるまちへ

- 赤ちゃんから高齢者まで住んで良かった、住み続けたいと思えるまち、寝屋川の実現のため頑張ります。
- 避難計画の策定と避難行動要支援者の安全確保、体育館のエアコン設置
- 35人学級の拡充と給食の無償化
- 学童保育指導員の処遇改善
- 中央図書館の確保と学校司書増員
- 国民健康保険料の引き下げと介護保険料の減免制度の拡充
- ごみ減量と廃プラ処理の見直し
- 災害時を見据えた職員の確保と専門職の育成

無所属議員

**新年あけまして
おめでとうございます！**

旧年は本市にとって今後の飛躍が期待できるたくさんの方が活躍された年でした。誇りに思える寝屋川市を実現するために精進してまいります。



元橋 理浩

中神田町9番11号
☎ 090-3350-7015
S44.8.2 生、無所属



太田 徹

高柳二丁目49番2号
☎ 090-2015-9293
S43.6.20 生、日本共産党



中林 和江

宝町4番33号
☎ 090-3944-8385
S31.5.28 生、日本共産党

公共施設の在り方調査特別委員会 活動報告



令和元年9月27日の会議では市から総合センター閉鎖に伴う代替策について、10月25日の会議では、市公共施設等総合管理計画及び市財政規律ガイドラインについて説明を受け、それぞれ質疑応答を行いました。

11月18日には、市内の公共施設の現状を調査するため、こどもセンター、消費生活センター、中央高齢者福祉センター等を視察しました。

地域就労支援事業
 就職先が決まった人の中で若年層及び中高年層の人数は。



タブレット

問 タブレットを窓口でどのように活用しているのか。
答 翻訳アプリを入れたり、アプリを通して障害福祉課と手話をしている。また、ホームページ等に記載している事項を説明する際にも、タブレットを利用し、市民の方に案内している。件数は。
答 翻訳アプリを使った件数が25件、ビデオ通話で連動させた件数が5件、ホームページ等を見るため、タブレットを活用した件数が約120件、計150件である。

健康福祉分科会

ビデオ通話相談窓口

答 地域就労支援センターの利用者の中で、就職が決まった方の内訳は、若年層、34歳以下の方が5名、35歳以上の中高年層が7名で、計12名の方が就職につながった。

生活困窮者自立支援

問 生活困窮者自立相談の成果は。
答 平成30年度の自立相談事業の新規件数は403件で、平成29年度の342件に比べて増加しており、事業の周知は進んでいるものと考えている。また、相談については、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方など、幅広く相談に応じて支援をすること、生活保護に至る前の第2のセーフティネットとして成果が上がっているものと認識している。

問 経済的な自立支援の成果として、就労に至った実績は。
答 38人が就労した。

ワガヤネガワ健康ポイント

問 平成30年度の応募者数が2031名と平成29年度より大きく飛躍した要因は。
答 健康推進室の窓口以外にもシティ・ステーション等でも受け付けられるように改善した。また、市役所やイオンモール四條畷内での電子掲示板等、様々な手法によって市民の方に広く周知できたほか、特定健診の受診者に対しての結果通知の中にもポイント等を入れたことにより、応募者数が増えたと考えている。

総務都市創造分科会

命を守るワガヤノ防災

問 防災冊子「命を守るワガヤノ防災」を作製・配布した成果は。
答 近年、地震や台風など様々な自然災害が発生する中で、避難所やハザードマップなど、行政が持っている防災に関する情報を一元化することができた。
問 具体的に活用された事例は。
答 自治会から防災冊子を使用した出前講座の開催依頼や大学の授業で活用するという話も聞いている。



ワガヤノ防災冊子

三世代定住支援

問 市内への流入及び定住の促進を図るため、子育て世代とその親世代

が市内に近居又は同居するための住宅取得や同居時のリフォーム工事に係る費用を補助しているが、成果は。
答 20件の申請があり、67人の定住を図ることができた。

問 市内、市外の内訳は。
答 市内から市内への移動が13世帯、市外から市内への流入が7世帯あった。

おいしい水のみ場事業

問 直結式給水の水のみ場及びウォータークーラーの設置場所は。
答 平成30年度から令和元年度にかけて、市立全小・中学校に設置した。設置したことへの反響は。
問 小学4年生及び教員を対象にアンケートを実施した結果、夏場の熱中症対策に有効である等好評を得ている。

シティプロモーション

問 テレビ番組を活用したシティプロモーションのねらいは。
答 テレビは有効な情報発信の媒体であり、放送エリアも広いことから市内外に市の施策・事業等を発信できると考え、実施した。

期日前投票所の増設

問 何か所増設したか。
答 市役所及び総合センターにおける期日前投票所に加え、新たに3か所設置した。
問 投票率の上昇に寄与したか。
答 投票率で約4・5%上昇しており、一定の成果があったものと考えている。

文教生活分科会

ねやがわプールの「ねやぶ」

問 参加した子どもたちの声は聴いているか。
答 事業内容や遊具、熱中症対策についてアンケートを実施しており、事業内容では98・3%の満足の声をもらっている。

問 今後の方向性については。
答 申込方法や対象者等の改善も含め、より多くの子どもたちのためになるよう検討していく。



ねやがわプールの様子

英検受験の実施

問 具体的な目標は。
答 中学校の卒業時に英検3級程度の英語力の取得を目指している。
問 受験者数と合格者数は。
答 3級以上の受験について、受験者数は1258人、合格者数は658人となっている。

△はマイナス、消費税込（単位：千円）

平成30年度決算の概要

（単位：千円）

区 分	歳入A	歳出B	差引(C) A-B	繰越額D	実質収支 C-D
会 計					
一般会計	85,172,531	83,502,382	1,670,149	11,165	1,658,984
特別会計	国民健康保険	27,600,093	27,058,021	542,072	542,072
	介護保険	20,596,074	20,303,285	292,789	292,789
	後期高齢者医療	3,400,502	3,229,226	171,276	171,276
	公共用地先行取得事業	135,564	95,776	39,788	0
合 計	136,904,764	134,188,690	2,716,074	50,953	2,665,121
水道事業会計	収益的収入額	4,174,769	資本的収入額	462,726	
	収益的支出額	3,806,342	資本的支出額	1,409,610	
	差引額	368,427	差引額	△946,884	
	税抜処理後純利益	304,587			
下水道事業会計	収益的収入額	5,931,037	資本的収入額	4,877,446	
	収益的支出額	5,336,240	資本的支出額	7,013,222	
	差引額	594,797	差引額	△2,135,776	
	税抜処理後純利益	494,360			

小・中学校の給食

問 平成30年度から啓明北、宇谷小学校で給食外部委託が始まった。直営と比べたときの効果額委託校全体の金額は。
答 3校についての効果額は約1643万9千円。全体では、1校当たり約780万円、15校で約1億1700万円と試算している。

問 中学校給食在り方検討委員会の開催状況と会議内容は。
答 平成30年度は3回実施しており、温かい給食の導入に向けた試行方法、試行後のアンケートの検証等について議論している。

待機児童ZEROプラン

問 プランのどの事業が効果的であったと認識しているか。
答 市独自の保育士処遇改善事業、宿舍借上げ支援事業等、様々な事業を行っており、相乗効果により効果的な事業展開ができた。
問 プランの実施によって、どれだけの待機児童が解消されたのか。
答 159人の保育士の確保ができ、372人の児童を待機することなく受け入れることができた。

クリーンセンター

問 新しい焼却施設で発電した電気売却による平成30年度の収入は。
答 売電金額は約3億4270万円。
問 当初見込みより増えた要因は。
答 災害ごみによる焼却量の増加及び廃棄物の適正処理の結果である。

総務都市創造常任委員会

総務都市創造常任委員会では、10月17日・18日に埼玉県春日部市・戸田市と神奈川県横浜市を視察しました。

春日部市・戸田市では、人口対策について、横浜市では、次世代郊外まちづくりについて取組状況などの説明を受け、施策の概要や市民との関わりなどの、質疑応答を行いました。



横浜市役所において

委員会視察の報告

総務都市創造常任委員会

◎板東 敬治、○元橋 理浩、金子 英生
北川 健治、久野 須賀子、野々下 重夫
村上 順一、奥 大輔

健康福祉常任委員会

◎馬場 才、○岡 由美、井川 晃一
北川 光昭、辻谷 恵一、中谷 剣将
福田 篤志、中林 和江

文教生活常任委員会

◎池添 義春、○山崎 菊雄、西尾 勝成
森本 雄一郎、吉羽 美華、高見 雄介
中川 健、太田 徹

◎委員長 ○副委員長

文教生活常任委員会

文教生活常任委員会では、10月23日・24日に秋田県大仙市と岩手県紫波(しわ)町を視察しました。

大仙市では、探究型学習及び学力向上について、紫波(しわ)町では、図書館(情報交流館)について、取組状況や今後の課題などの説明を受けた後、質疑応答を行いました。



紫波(しわ)町の図書館を現地視察

健康福祉常任委員会

健康福祉常任委員会では、11月20日・21日に埼玉県草加市と東京都八王子市を視察しました。

草加市では、認知症について、八王子市では、成果報酬型官民連携モデル(SIB)事業について、事業の取組や概要などの説明を受けた後、質疑応答を行いました。



草加市役所において